

整形外科この1年

整形外科医長 佐々木 拓郎

診療スタッフ

平成19年度の滝医長、渡辺医師、佐々木から平成20年4月に2名入れ替えとなりました。滝医長は函館中央病院へ、渡辺医師は国立西札幌病院へ転勤し、新たに北大病院から上肢専門の梅本貴央医師、同じく北大病院から後藤礼大医師が着任して3名で診療に当たっています。

診療状況

外来は昨年度と同様に予約制で午前診療とされています。月・水・金曜日を2診体制、火木曜日を1診体制で行っております。月曜の午後は市内の乳児股関節脱臼検診と腰痛検診を行い、水曜の午後は特殊検査および病棟において医師・看護師・理学療法士・薬剤師・医療支援相談室合同のカンファランスと総回診を行っています。また月に1もしくは2回北大病院の脊椎専門医による外来診療および神経徐圧を中心とした手術治療を行っています。

手術件数および内容について

年間手術件数は509件であり、前年に比べさらに増加傾向にあります。手術の内訳は外傷では橈骨遠位端骨折が減少し大腿骨近位部骨折に対する骨接合・人工骨頭挿入術が増加しました。変性疾患では変形性膝関節症に対する人工膝関節置換術や絞扼性神経障害に対する神経徐圧術などの上肢手術の増加がみられました。

今後の展望

近年地方の医師不足が指摘されるなか北大においても新入医局員が減少傾向にあり、今年度末での市立旭川病院からの北大整形外科の撤退も決まっております。また道北地区で整形外科常勤医を擁する医療機関は限られており、名寄の地域的な特性から整形外科診療を希望される患者さんが当院へ集中する傾向は続くものと思われます。

限られた人員で地域医療に貢献できるように引き続き努力していきたいと思っております。

平成20年 手術件数509件 (488) ※重複例を含む (昨年の件数)

上肢外傷	橈骨遠位端骨折	31 (40)
	鎖骨骨折	5 (13)
	腱断裂	17 (17)
	その他上肢外傷	62 (63)
	再接着	2 (0)
上肢変性疾患 (肩, 肘, 手)		
	絞扼性神経障害	24 (12)
	腱板縫合	3
	関節形成	3 (1)
	腱鞘切開	28
	その他	14 (43)
下肢外傷	大腿骨近位部骨折	88 (71)
	骨盤～大腿部	9 (15)
	膝～下腿部	32 (24)
	足関節	26 (22)
	アキレス腱断裂	11 (12)
	膝鏡視下手術	25 (19)
	靱帯再建術	2 (8)
	その他	11 (10)
下肢変性疾患 (股, 膝, 足)		
	人工関節置換術	28 (13)
	矯正骨切り術	1 (0)
	その他	12 (21)
脊椎	頸椎の手術	6 (6)
	腰椎の手術	12 (10)
	その他	1 (2)
	金属抜去	78 (79)
切断・断端形成		17